

日本共産党の
主張がとおり

2年連続で国民健康保険税を

1世帯平均2万3千円引き下げます



1

大幅値上げで4億7,600万円もため込む 反対したのは日本共産党だけ

菰野町は、国保税を平成15年度6%、平成16年度には21%もの大幅値上げを強行しました。

その結果、平成17年度は、菰野町は三重県下で一番高い国保税になりました。

2年連続の大幅値上げで、平成16年から平成17年度の2年間で、基金に2億700万円を積み上げ、さらに、2億6,800万円を平成18年度へ繰り越しました。

日本共産党議員団は「20%を超える大幅値上げは町民に急激な負担を強いるもので、許されない」と指摘し、保険給付費などの動向を慎重に見極めるよう強く求め、反対してきました。

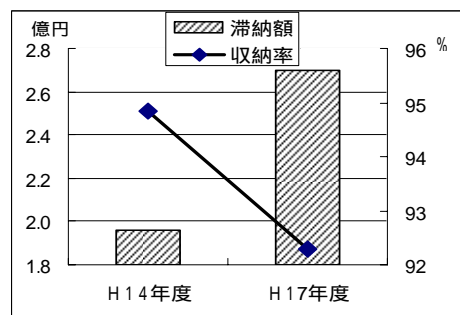


2

滞納世帯が10世帯に1世帯にも 滞納額が急増

大幅な値上げで国保税の収納率が、94.83%から92.3%に落ち込んでいます。滞納額も、1億9,600万円から2億7,000万円と3年間で37.7%も急増しています。

滞納世帯は、平成18年10月の保険証交付時には10・47%となり、10世帯に1世帯以上が国保税を払いたくても払えない滞納世帯という異常な状況になっています。



3

いっかんして国民健康保険税の値下げを求めてきました

日本共産党議員団は、値上げの不当性を明らかにして、議会で何度も取り上げて値下げを求めてきました。

県下一高くなった国保税が、平成18年度に6,400万円引き下げられました。さらに平成19年度は1億円値下げすることがこの6月議会で決まりました。

一世帯あたりの国保税は、平成18年度17万3,276円

が平成19年度は15万331円に平均2万3000円(13.2%)の値下げになります。

高すぎて、取り過ぎた国保税を値下げするように求め、議会で何度も質問し、値下げを要求したのは日本共産党議員団だけです。

日本共産党



くらしと 平和憲法を守ります

日本共産党県書記長
中野たけし
(33才)

